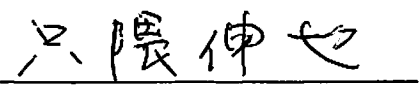


会議の開催結果について

- 1 会議名 令和6年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会議日時 令和6年6月3日（月）
午前・午後 10時00分 から
- 3 開催場所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会議の議題
 - (1) 令和5年度事業報告について
 - (2) 令和5年度地域クラブ活動実証事業について
 - (3) 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針について
 - (4) 令和6年度事業計画について
 - (5) 令和6年度地域クラブ活動実証事業について
- 5 公開・非公開 公開
の別
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍聴者数 0人
- 9 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会	
開催日時	令和6年6月3日（月）午前10時00分から正午まで	
開催場所	上尾市青少年センター 会議室2・3	
議長(委員長・会長)氏名	只隈 伸也	
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 宮内 光雄 鹿井 ゆかり 金子 輝大 洞派 英樹 根本 和彦 佐藤 和成 永井 基生 高山 亮平	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	武田 直美 椎名 邦充 平賀 健治 川上 浩行 森 正典 玉造 勇輝 馬場 志保 遠藤 誉幸 大平 篤	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	1 報告 (1) 令和5年度事業報告について (2) 令和5年度地域クラブ活動実証事業について (3) 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針について 2 協議 (1) 令和6年度事業計画について (2) 令和6年度地域クラブ活動実証事業について	別紙のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会議資料	・令和6年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会資料 ・別冊資料①夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」教職員用リーフレット ・別冊資料②夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」保護者用リーフレット（第1号・第2号） ・別冊資料③令和5年度 新たな地域クラブ活動実証事業取組概要一覧 ・別冊資料④上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針 ・別冊資料⑤上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針概要版リーフレット ・別冊資料⑥AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ ・別冊資料⑦上尾市英語クラブ（イングリッシュサロン）教職員用リーフレット	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和6年 6月24日 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> 議長(委員長・会長)の署名 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ) </div> <div style="text-align: center;">  <hr style="width: 100%;"/> </div> </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	<p>この令和6年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、審議会等の会議の公開に関する指針の3会議の公開により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。</p> <p>では公開の協議会とさせていただきます。事務局、本日、傍聴の申し出はございますか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴の申し出はありません。</p>
只限委員長	<p>それでは、最初に報告をいただきます。</p> <p>まず、報告(1)令和5年度事業報告について、事務局より報告願います。</p>
事務局	<p>それでは 報告(1)令和5年度事業報告について説明いたします。</p> <p>本資料1ページ、資料1-①を御覧ください。</p> <p>令和5年度事業実績一覧でございます。</p> <p>○が本事業に係る取組、★がモデル事業の実施、◆が先進地視察・各種研修会への参加、■が調査としてまとめてございます。</p> <p>主な事業実績として6点、抽出して説明いたします。</p> <p>最初に、上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の開催についてです。</p> <p>令和5年度より、上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会条例に基づく協議会を、3回にわたり実施し、令和5年度事業や各種モデル事業について、また「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針(案)」に関する協議を実施いたしました。</p> <p>続いて、「上尾市立中学校アッピ一部活動コーチ」、「上尾市立中学校アッピ一部活動サポーター」の配置についてです。</p> <p>令和5年度より、市内9中学校に対し、教員に代わる指導や単独での大会引率等が可能な部活動指導員を「上尾市立中学校アッピ一部活動コーチ」として配置し、教員の負担軽減と当該部活動に所属する生徒の充実した活動に資する取組を推進いたしました。</p> <p>また、技術的指導が困難な顧問のサポートを行うための外部指導者を、</p>

上尾市立中学校アッピー部活動サポーターとして、市内全中学校に対し、計45名の指導者を配置し、当該部活動における技術的指導に係る支援を実施いたしました。

続いて、先進地視察・各種研修会への参加についてです。

令和5年8月に、群馬県吉岡町立吉岡中学校における「YAMADAホールディングスとの連携」による事業を視察し、多様な種目に通ずる「クロストレーニング」実施の有効性や、企業等の協賛及びスポンサー収入を運営資金の補助とする考え方等について、研修させていただきました。

また、埼玉県主催、埼玉県教育委員会主催、埼玉県スポーツ協会主催等の研修会に参加し、県内各地域における地域クラブ活動実施に向けた取組等に関する事例等を収集いたしました。特に埼玉県教育委員会「地域クラブ活動シンポジウム」等では、スポーツ庁の実証事業に係る取組を実施した自治体、団体等の発表を拝聴し、教職員の兼職兼業に係ること、コーディネーター業務の重要性、様々な団体等との関係の構築の方法等について研修させていただきました。

続いて、市内中学校に勤務する教職員に向けた、「教職員説明用動画の配信」及びリーフレットの配布でございます。市内中学校に勤務する教職員が、今後の「休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行」に関する見通しをもてるよう、部活動改革に関する国及び県の動向や、上尾市における検討状況及び「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（案）」等について説明いたしました。

続いて、「夢を育み 未来を創る 上尾の『部活動改革』保護者用リーフレット」の配布についてでございます。市内小・中学校に在籍する児童生徒の保護者の皆様が、本市における部活動地域移行推進事業に関する理解を深められるよう、部活動改革に関する国及び県の動向について紹介するリーフレットを作成し、定期的に配布することとし、令和6年3月に、第1号を配布いたしました。

最後に、第1回上尾市地域クラブ活動ミーティングについてでございます。上尾市における新たな地域クラブ活動の整備に際し、子供たちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の場が確保できるよう、地域の皆様から御意見を伺う機会を設け、上尾市の実態に応じた最適な地域クラブ活動の実施について話し合う地域ミーティングを、令和6年3月17日（日）に上尾公民館において開催いたしました。参加対象につきましては、上尾市スポーツ協会様、上尾市スポーツ

	<p>少年団様、上尾市スポーツ推進委員連絡協議会様、上尾市民吹奏楽団様、上尾市PTA联合会様の5団体の皆様に御協力を依頼し、計40名の皆様に御参加いただきました。参加者の皆様には、大変貴重な御意見をいただきました。御意見につきましては、今年度の取組に活かしていきたいと考えております。報告（1）についての説明は以上でございます。</p>
只隈委員長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問等はございますでしょうか。教職員に向けての動画、リーフレットが配信、配布されていると思いますが、現役の先生方は御覧になっていかがだったでしょうか。高山委員、リーフレット等は御覧になりましたでしょうか。</p>
高山委員	<p>拝見いたしました。保護者の一人として、本事案について、積極的に学ぶ必要があると感じております。</p>
只隈委員長	<p>地域クラブ活動ミーティングは、非常に良い取組であったと思います。様々な場所で説明することは良いことだと感じております。</p>
高山委員	<p>「地域クラブ活動ミーティング」というネーミングが、地域のクラブの方に向けてのものなのか、PTAが参加すべきものなのか判断に困りました。</p>
事務局	<p>今後、ネーミングやアナウンスの方法等について検討していきたいと思っております。</p>
只隈委員長	<p>次に、報告（2）令和5年度地域クラブ活動実証事業について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>それでは、報告（2）令和5年度地域クラブ活動実証事業について、説明いたします。</p> <p>令和5年度は、上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針(案)の作成に際し、モデル事業の実施を通して検討事項に係る実践的な検証を行い、課題を整理するとともに、その解決に向けた方策を検討、構築するため、地域クラブ活動モデル事業を実施いたしました。</p> <p>効果検証事項につきましては、記載の7点について実施しております。</p>

	<p>令和5年度は、埼玉上尾メディックスバレーボールチーム様、上尾市陸上競技協会様、総合型地域スポーツクラブのサンワ×エナジークラブ様との連携による地域クラブ活動モデル事業をそれぞれ実施いたしました。各事業の概要につきましては、本資料に記載のとおりとなっております。なお、令和5年度につきましては、文化芸術に係る実証事業には取り組んでおりません。</p> <p>今後に向けて令和5年度に、連携いたしました各団体様と、令和6年度以降の継続実施や拡大の可能性、実施形態の変更等について協議するとともに、スポーツ庁が実施するスポーツクラブ活動体制整備事業に参加し、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」、基本構想の中に位置付けられた運営事業者「AGEO地域クラブ代表者会議」を機能させた上で、複数の実証事業の実施に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>報告（2）につきましては以上でございます。</p>
只隈委員長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問等がございますでしょうか。</p>
萩原副委員長	<p>上尾市陸上競技協会の活動については、計7回実施しました。参加生徒数は20～40名ほど、参加校も少なかった印象です。種目としては、短距離、長距離、幅跳びをやらせていただきました。</p> <p>「どうしたら人を集められるか」を協会で協議し、令和6年4月21日に記録会を実施したところ、計70名の参加があり、種目は100M走、200M走、800M走でしたが、市内9校からの生徒の参加がありました。長距離走については、箱根駅伝への出場経験のある者にペースメーカーを務めていただきました。今後、陸上教室のような形で行っていくのか、記録会を行って生徒の意欲を向上させていくことが良いのか、検討していきたいです。</p>
只隈委員長	<p>上尾市は、実証事業はよく実施している方だと思います。</p> <p>こちらの報告を受けまして、令和6年度の計画を進めていただければと思います。</p> <p>次に、報告（3）上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針について、事務局より説明願います。</p>

事務局

最初に、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」策定に向けたスケジュールを御確認ください。上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針につきましては、令和5年度9月より本協議会での検討を開始し、令和6年1月の教育委員会定例会での協議などを経て、令和6年2月の本協議会において最終案を作成いたしました。その後、記載の取組を推進し、令和6年5月23日（木）に行われました、上尾市教育委員会5月定例会において審議・決議を行い、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」を策定しております。

それでは簡単に、本基本方針の内容につきまして、説明いたします。

第3章では、最初に「目標及び地域クラブの定義」として、「目標」、「本目標の実現のために」、「AGEO地域クラブの定義」をそれぞれ記載しております。

目標は、「すべての生徒が、地域において、自己のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるようにすること」です。

そして、本目標の実現のため、「上尾市は、上尾市立中学校における休日の学校部活動の実施主体を地域とするための組織である、『AGEO地域クラブ』を創設すること」としております。

AGEO地域クラブの定義としては、「上尾市内を主たる活動場所として、『上尾市立中学校に係る部活動の方針』に基づく活動を行っていること等が上尾市教育委員会によって公認されたクラブチーム」と定義付けいたしました。

下段の補足では、「本事業の推進が、将来的にすべての市民が、生涯にわたって、地域で多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる持続可能な体制となることを期待できると考える。」と述べております。

次に、基本方針についてです。方針1は、生徒が、生涯にわたって、スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を積極的に整備することです。

AGEO地域クラブでは、既存の学校部活動の種目に限らず、生徒の多様なニーズに応じた「多種目」、「多志向」、「インクルーシブ」な環境を整えます。

また、中学生年代に限定せず、世代を超えた人とのつながりが生まれる活動環境を整えることにも配慮します。

さらに参加費の設定に当たっては、地元企業等からの運営面での支援を広げ、生徒の参加の支障とならないよう、金額を工夫することを考えてお

ります。

方針2は、生徒が、スポーツ・文化芸術活動に継続的に取り組むことができる強固な体制を整備することです。

生徒の安心安全を担保するため、管理方法の整備や、指導者の資質向上に努めるとともに、指導者や運営スタッフを持続的に確保できる仕組みを整え、経済的に安定した運営を行ってまいります。

方針3につきましては、生徒・保護者・教職員・地域指導者等、それぞれの思いを反映させた地域クラブ活動とすることです。定期的に意見聴取の機会を設けまして、各地域や種目ごとの、最適な地域クラブ活動としてまいります。

方針4につきましては、地域クラブ活動への移行の時期について、学校部活動の現状や種目の特性などを考慮し、種目ごとに無理のないスケジュールを推進することです。全地域、全種目の休日の学校部活動を、一斉に地域クラブ活動に移行するのではなく、中学校体育連盟主催大会の参加規定や種目の特性などを踏まえ、種目ごとに無理のないスケジュールを組み、モデル事業を丁寧に実施いたしまして、検証及び議論を重ねた上での移行を目指すことといたします。また、地域クラブ立ち上げの際には、教職員や保護者、生徒に対する説明を丁寧に行ってまいります。

方針5につきましては、上尾市における地域クラブ活動実施に係る情報を、市民に対し、広く周知することを記載させていただきました。地域説明会や講演会などを実施し、本基本方針案などについて広く周知を行ってまいります。

続いて基本構想について説明をさせていただきます。

まず、上尾市では、令和8年8月より、上尾市立中学校の休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行することを目標といたします。移行にあたり、地域クラブ活動と学校部活動の連携が必要な場合においては、ICTを活用するなどした情報等の引き継ぎを丁寧に行う予定です。なお、休日の学校部活動につきまして、令和8年度学校総合体育大会終了までは、顧問教員が希望する場合、学校部活動として休日に活動することについては妨げません。それまでは基本的に並走するイメージで考えております。

また、AGEO地域クラブの立ち上げにあたり、まずは各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体を募集することとなります。各スポーツ活動を統括する団体につきましては、スポーツ協会、スポーツ協会に加盟する競技団体、総合型地域スポーツクラブなどを中心に募集したいと考えてい

ます。

各文化芸術活動を統括する団体につきましては、市民団体等を中心にお声掛けさせていただきたいと思っておりますが、必要に応じて民間企業との連携も検討します。そして、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体が、各種目の地域クラブ活動を運営します。後ほど追って説明いたしますが、複数の中学校の生徒を参加対象とした合同での地域クラブ活動の実施も可能とする予定でございます。なお、市は、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体の代表者を集めた「AGEO地域クラブ代表者会議」を設置し、運営事業者としてのコーディネーター業務及び管理を行っていく予定としています。

さらに、地域クラブ活動に参加する場合、生徒は参加費を支払うことといたします。但し、市は参加を希望する全ての生徒が地域クラブに参加できるよう、参加費を負担軽減する取組などを推進し、経済的に困窮する生徒の地域クラブ活動への参加費用の支援などの取組を推進したいと考えております。

加えて、AGEO地域クラブでは、生徒のニーズに応じた充実した活動の実施や、教員の働き方改革の推進、生涯学習の推進を図り、新しい価値の創出に向けた取組を進めたいと考えております。

続いて、実施主体とAGEO地域クラブへの生徒の参加についてです。

活動拠点につきましては、各種目1拠点から整備し、参加者数の増加状況に応じて、最終的には市内を4つの地域に分けて拠点を設けることを目指しております。

AGEO地域クラブへの認定条件は、主に3つです。「生徒の安心・安全に関わること」「指導の専門性に関わること」「持続可能な指導体制に関わること」となります。具体的な認定方式については、今後検討してまいります。

指導者につきましては、現行の「上尾市立中学校に係る部活動の方針」等を厳守できる指導者をベースとし、専門性の高い指導ができる方を指導者としていく予定です。

なお、各スポーツ・文化芸術団体を統括する団体には事前に研修を行い、その団体の公認指導者として認定すること等を求めていきたいと考えています。

また、教員が兼職兼業を希望し、地域クラブ活動における指導への従事を望んだ場合は、文部科学省、スポーツ庁、文化庁が示している「公立学

	<p>校の教師等が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業についての手引き」に基づきまして、必要な手続きを行えば、地域クラブでの指導を可能といたします。</p> <p>AGEO地域クラブへの生徒の参加につきましては、生徒は自身が居住する地域クラブへの参加を基本といたしますが、自己のニーズに合った地域クラブがない場合は、保護者の了解のもと、自身が居住しない地域クラブに参加することができるようにしていきたいと考えています。</p> <p>AGEO地域クラブとしての中体連主催大会などへの参加につきましては、上尾市中学校体育連盟の指示に従っていくこととし、今後も引き続き連携を密にとっていきたいと考えております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針の概要について、説明をさせていただきました。</p> <p>今後の主な取組についてでございますが、教職員や保護者、地域の皆様に対し、本基本方針の内容等について丁寧に説明するとともに、今後の取組についての御意見をいただく機会をしっかりと設けていきたいと考えております。</p> <p>報告（3）についての説明は以上でございます。</p>
只隈委員長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問等がございますでしょうか。</p> <p>高山委員から、地域クラブというお話がありましたが、基本構想の運営事業者ということでしょうか。</p>
高山委員	<p>保護者等への「部活動の地域移行」についての説明に関しましては、平日と休日の線引きが理解されているかどうかのポイントだと思います。休日の部活動を移行するということを強調してお伝えした方が良いと思います。部活動の地域移行というと、平日も休日もすべて地域に移行するイメージを期待する保護者が多く、説明をする人と聞く人で話が噛み合わなくなってしまうと思います。</p>
只隈委員長	<p>確かに、うまく伝わっていない部分はあると思います。伝え方については検討の余地があります。</p>
高山委員	<p>「休日の部活動地域移行」と、強調していくようにお願いします。</p>

只隈委員長	現場の先生方はどのように捉えているのでしょうか。
洞派委員	なかなか現実的に理解できていない部分もあるかもしれません。先日、学校で部活動保護者会がありましたが、「部活動はなくなってしまうのか」、という意見が保護者から出ました。部活動は学校のものだという意識がまだまだ根強く残っています。どう地域移行されるのか理解されておらず、地域移行の良さが伝わっていない保護者が多い印象です。
根本委員	学校で教員に話したところ、部活動地域移行は本当にできるのか、指導者は集まるのかという意見がありました。また、クラブで起こった生徒同士のトラブルについては、どう対応するのか、今は学年が違っても把握できているが、学校が対応するのは難しいのではないかと、という話もありました。
永井委員	私も、地域クラブにおける生徒同士のトラブルへの対応は難しそうだと感じております。
宮内委員	スポーツ少年団でも、中学生を見るときになると難しさがあるように感じます。
只隈委員長	事務主体である市が、スポーツ少年団を実施主体とすることも考えます。
事務局	昨年度、上尾市スポーツ少年団に御協力いただいたアンケート調査を見ると、スポーツ少年団の皆様が、新たに中学生の活動の受け皿になるということについては、難しいという回答を多くいただいています。文化芸術に関しても、吹奏楽等の受け皿を見付けていくのは難しいところがあるので、必要に応じて、民間企業等に委託すること等も検討すべきだという話があります。教育委員会といたしましては、様々な繋がりから受け皿になっていただけたところを、探してまいりたいと考えております。
高山委員	上尾市立中学校アッピー部活動コーチの指導者は、統括団体の所属となるのでしょうか。

事務局	<p>各種目の統括団体に所属できるよう、システムを構築していきたいと考えています。</p>
高山委員	<p>自分のイメージだと、保護者や知り合いの経験者、一般の方をコーチとして招いているということもあるのかなと思います。名乗りを挙げてくださった方々はどこかの団体に所属するというのでいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>そういった流れも想定しております。また、教員の中でも、兼職兼業を希望して指導に従事したいという方々も、出てくる可能性があります。指導者についての登録制度を設けること等、今後、管理運営の方法について、検討していきたいと考えております。</p>
只限委員長	<p>必要なマンパワーをどうやって集めていくかが重要です。基本方針が策定できたことは、前進であると思います。また、教職員の兼職兼業についても進めていかないと、成り立たないとも考えます。</p>
事務局	<p>教職員の兼職兼業につきましては、いろいろと条件がありますので、本業である学校での勤務や時間外在校等時間等の壁をクリアできるかという議論が必要です。国の制度に基づき、適切に運用できるようにしてまいります。</p>
只限委員長	<p>それでは、次に協議に移ります。(1) 令和6年度事業計画について、及び(2) 令和6年度地域クラブ活動実証事業について、まとめて事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>協議(1) 令和6年度事業計画について、(2) 令和6年度地域クラブ活動実証事業について、まとめて説明をさせていただきます。</p> <p>今年度の事業計画を立てるに当たりまして、最初に、現状における主な課題と今後の解決策の案についてまとめております。</p> <p>課題2につきましては、「AGEO地域クラブ代表者会議」、統括コーディネーター委託先の決定と記載しております、AGEO地域クラブ全体の運営を確固たるものにするため、上尾市教育委員会では、運営を担う「AGEO地域クラブ代表者会議」に統括コーディネーターを配置しようと考えているところです。統括コーディネーターにつきましては、運営ノウハ</p>

ウに長けた民間企業等に委託することが望ましいと考えております。

課題3につきましては、令和5年度上尾市における新たな地域クラブ活動実証事業における課題解決を記載いたしました。昨年度、御協力いただきました団体様との連携事業実施のおかげをもちまして、様々な課題が抽出されております。令和6年度も複数種目の実証事業に取り組み、課題解決を図っていききたいと考えております。

課題4につきましては、本事業に対する教職員、保護者、地域の理解の促進を挙げております。

課題5につきましては、英語クラブ「イングリッシュサロン」に対する市民の皆様の理解と周知としました。本事業実施の趣旨、意義を広く周知してまいりたいと思います。

最後に課題6として、困窮家庭への地域クラブ活動参加支援についての検討を記載いたしました。

AGEO地域クラブでは、参加費の支払いを求めることを基本とさせていただいておりますので、本内容の検討が不可欠であると考えております。

まずは、先進自治体の取組について調査研究をさせていただいて、検討の際の参考にしたいと考えているところでございます。

以上を踏まえまして、今年度の事業計画一覧をまとめさせていただきました。いくつかの取組について補足をさせていただければと思います。

(2)上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の開催についてでございます。

令和6年度より、新たに外部からの委嘱委員を2名増員させていただきました。

令和6年度につきましては、「本年度の本市における取組の充実に向けた協議」などについて、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づく「AGEO地域クラブ運営体制の最適な構築に向けた協議」などが実施できればと考えているところでございます。

続いて(3)上尾市立中学校アッピー活動コーチ、上尾市立中学校アッピー部活動サポーター事業についてです。

上尾市立中学校アッピー部活動コーチ、上尾市立中学校アッピー部活動サポーターについては、今年度枠を増員して各校に配置しております。将来的な地域クラブ活動の実施主体として、指導者の1人とすることも想定しておりますので、そのための研修も積極的に実施していききたいと考えて

いるところでございます。

次に、保護者用リーフレットについてです。

昨年度より発行を開始いたしました保護者用リーフレットですが、今年度も6回にわたり発行したいと考えております。

最後に、「地域クラブ活動ミーティング」についてです。今年度も、地域の皆様と、上尾市の実態に応じた、最適な地域クラブ活動の実施について話し合う地域ミーティングを、定期的に開催したいと考えております。

なお、第2回につきましては、令和6年7月17日（水）午後6時30分から開催することを予定しております。今回の参加対象団体につきましては、前回対象とした団体に加えまして、上尾市国際交流協会様、上尾市美術家協会様にも依頼し、より多角的な視点で協議ができればと考えているところでございます。

続いて、協議（2）令和6年度地域クラブ活動実証事業について、説明いたします。

現時点で抱える課題の解決に向け、令和6年度も、新たな地域クラブ活動の実証事業に取り組んでまいりたいと考えております。今年度は、令和4、5年度と積み重ねてきたスポーツに係る地域クラブ活動実証事業に加え、新たに文化芸術に係る地域クラブ活動実証事業にも取り組みながら、課題の解決を図ってまいりたいと考えております。

まずは、地域クラブ活動実証事業実施の主な目的についてでございますが、スポーツでは、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づきながら、AGEO地域クラブを継続的に運営することができる体制づくりとして、「AGEO地域クラブ代表者会議」を発足させること、そして、そこに統括コーディネーターを配置したいと考えております。

なお、統括コーディネーターにつきましては、運営ノウハウに長けた民間事業者への委託ができればと考えております。そして、いくつかの地域クラブ活動を統括する団体を募集いたしまして、「AGEO地域クラブ代表者会議」の運営管理の下、同じ管理運営体制のもと、複数の種目について地域クラブ活動が実施できればと考えているところでございます。こうした営みの中で、今年度は、運営事業者であるAGEO地域クラブ代表者会議の体制づくりを進めることが目的となります。

なお、上尾市教育委員会といたしまして、スポーツ庁の実証事業に参加し、国からの補助金を受けられることが内定しております。

次に文化芸術に係る実証事業についてです。

文化芸術に係る実証事業につきましては、昨年度まで取り組むことができておりません。しかし、将来的にAGEO地域クラブ代表者会議に文化芸術担当の統括コーディネーターなどを配置し、こちらも複数の種目の地域クラブ活動を運営できるようにする必要がございます。

そのため、まずは、1種目から取り組み、スポーツと同様、効果検証事項に向き合いながら、課題を整理したいと考えております。種目についてでございますが、今年度は「英語クラブ」を予定しております。昨年度の協議会などでも御意見が出ておりましたが、文化芸術に関してはなかなか受け皿となる団体を探していくことが難しいことが想定され、場合によっては民間企業等に委託することも視野に入れることを基本方針で示してございます。英語クラブにつきましても、まずは民間企業にコーディネーター業務を委託して、ノウハウを蓄積しながら、他の文化芸術に関わる地域クラブ活動の実施に繋げていきたいと考えております。

予算につきましては、上尾市より英語クラブ運営に関わる予算が、3年間に渡り計上される予定となっております。また、文化庁の実証事業にも参加することが内定しております。

続いて、スポーツに係る地域クラブ活動の詳細について説明いたします。

最初に、実証事業の基本構想です。まず、先ほど目的の中で説明いたしました、「AGEO地域クラブ代表者会議」の発足については、統括コーディネーター業務の委託先団体を決定すること、その上で担っていただく役割を記載しております。スケジュールとしては、9月上旬までに代表者会議を発足させ、9月中旬より複数種目の地域クラブ活動を開始できればと考えているところでございます。

取組種目について、令和6年度は7種目を目指していきたいと考えております。

実施日時につきましては、学校活動等の並走を考慮いたしまして、休日部活動の実施が割と少ないと考えられる日曜日に実施し、活動時間は、学校部活動と同様、3時間としたいと考えております。

実施方法につきましては、今年度は「講習会」形式で実施をいたしまして、チーム化はしない方向で進めたいと考えております。

対象は、市内中学校に在籍する全生徒とし、地域クラブ活動の発足を全校生徒にお知らせした上で、参加者を集めたいと考えております。拠点については未定ですが、各種目1拠点から開始できるよう、学校との交渉を

進める予定です。

先ほど申しあげました7種目につきましては、記載の7種目を考えております。

なお、スポーツに係る実証事業では、今年度も「受益者負担有り」での実証事業とし、補助金を使って不足分を補いながら、一定の参加費の支払いを求めていきたいと考えております。

最後に補足を御覧ください。実証事業における指導者への謝金については、1回につき、1人当たり一律4,500円の謝金、1,000円の交通費を支給する方向で考えております。

また、当該種目の地域クラブ活動の実施に当たりまして、上尾市中学校体育連盟及び当該種目の専門部に対し、協力と連携をお願いしたいと考えております。具体的に種目が決まり、活動の期日、会場が決まった段階で、中体連会長をはじめ、中体連役員の皆様に連絡をさせていただき、その後、専門部の皆様への説明を行わせていただきたいと思います。

続いて、文化芸術に関わる地域クラブ活動実証事業についてでございます。

上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」は、本市における文化芸術に係る初めてのケースであり、将来的に子供たちの活動の場が、地域に移った際に必要な準備や安定的な運営ノウハウの構築等につなげるものでございます。

本事業は、本市における初めての文化芸術に係る地域クラブ活動であることから、運営ノウハウをもった専門の業者に運営を委託して実施することが望ましいと考えており、指導者の派遣、指導計画の作成、緊急時連絡体制整備等、運營業務を委託しながら、本事業の効果の検証及び課題の把握を行って参ります。

概要についてでございますが、イングリッシュサロンは、「誰でも、気軽に、『生きた英語』を楽しめる」ことをテーマとし、英語による表現活動を中心とした活動を実施する予定でございます。具体的には、歌、ダンス、ゲーム、英語劇、スピーチ、ディスカッション、ディベートや、多文化理解を深める活動を予定しております。また、会場をオンラインでつなぎ、成果の発表会や、ディベート対決等も実施できればと考えております。

続いて、日時及び会場についてでございますが、月に3回程度、土曜日に、上尾市立公民館等を会場に、約2時間の講座を実施する予定です。

令和6年度の事業においては、参加費は無料とし、市で傷害保険及び賠

償保険に加入するため、受益者負担は無しとします。

次に、実施までのスケジュールについて説明します。まず、委託業者との締結についてですが、5月下旬の入札において、株式会社ジョイトークイーストジャパンが落札いたしました。

株式会社ジョイトークイーストジャパンは、現在、市内全小・中学校へのALT派遣業務を委託している業者です。契約締結後、6月中旬から下旬ごろを目安に、参加者の募集を開始します。まずは、中学校から募集を開始し、応募状況を見て、小学校にも募集をかける予定です。

休日の学校部活動に参加している生徒も応募可能となりますが、本事業については、原則、3月までの各回に参加することが基本となります。募集は、会場ごとに実施します。オンラインによる募集を行い、集約及び会場割振り等の調整は、委託業者が行います。

講座につきましては、まず、プレ事業として7月20日、27日、8月31日の3回の講座を、上尾公民館及び平方公民館の2か所において実施し、6会場での運用に向けた課題の洗い出しを行ってまいりたいと考えております。9月からは、市内6会場で事業を開始する運びとなります。

会場別の講座実施計画について説明します。こちらは、生涯学習課及び各公民館と調整したものになります。具体的な日程につきましては、現在調整中であり、募集を行う際には、募集要項とともに、各会場の実施予定日を提示する予定です。なお、上平地区、平方地区、大谷地区については、公民館の利用に加えて、学校施設開放事業として開放している、小学校の特別教室を活用する計画です。

最後に、本事業の効果の検証について説明します。本事業を通して、「地域クラブ活動に参加した際の生徒の満足度や感想について」、「地域クラブ活動を運営する際の参加費の設定について」、「事業をマネジメントする際の準備や対応について」、「指導者の確保や講師の研修について」等を、検証していきたいと考えております。そして、地域クラブ活動運営に係るノウハウを蓄積し、本市における文化芸術活動に係る地域クラブ活動の選択肢拡大につなげていきたいと考えております。

説明は以上でございます。

只隈委員長

ただいまの説明について、まず御質問はありますか。

スポーツ、文化芸術ともに、今年は、組織づくりに取り組むということによろしいでしょうか。

事務局	スポーツについては組織づくり、文化芸術については1種目から取り組み、まずは課題を洗い出すということを考えております。
只隈委員長	スケジュールがややタイトだと感じますが、いかがでしょうか。
事務局	国の実証事業は、単年度のものとなりますので、年度内に成果報告が求められているところが関係しております。スポーツの方で統括コーディネーター業務を委託する団体につきましては、入札によって委託する団体を決めていくことになります。
只隈委員長	それでは、協議に入りたいと思います。まず、吹奏楽は、中学校において一番ニーズがある文化芸術になると思いますが、そのあたりについては、鹿井委員さんはどうお考えですか。
鹿井委員	吹奏楽については、業者に該当するものがない、ということが一番だと思います。オーケストラになると、独自でその団体を経営しています。そういったところに業務委託を打診してみるということも考えられますが、埼玉県にはこういった団体がありません。アマチュアの方々に関わっていただくことは難しいと思います。
根本委員	「部活動地域移行推進事業」に対する教職員・保護者・地域の理解の促進について、子供の意見も反映してほしいと思います。令和8年度までに休日の地域移行を行うのはすごく難しいことだと思います。また、市の中体連で、今後、検討していくとは思いますが、クラブチームの参加形態では、かなり壁は高いと思われます。勝利至上主義になってしまう可能性が高いからです。大会に出られなくなった場合、個人スキルを高めるということになるのか、そのあたりも含めて、御検討をいただきたいです。
洞派委員	先日、「バスケットボール部に所属しているが、陸上部の大会に出たい、大会に出たいがどうしたら良いかわからない」という相談を受けました。こうしたニーズにも応えられると良いと思います。
金子委員	英語クラブには、必ず日本人の先生はいるのでしょうか。

事務局	<p>講座の中で英語の指導等ができる外国人講師2名と、日本人のコーディネーターを必ず1名配置するという条件になっております。</p>
只限委員長	<p>その他の検討課題として、どういう人材を集めるのかということもあると思います。募集する段階で、資格までは必要ないなど、基準を明確にしていく必要はあるのかと思います。</p>
高山委員	<p>保護者を含め、生徒のスキルアップにおいて、コーチングのレベルの高いものを期待するということはベストだと思いますが、単純に、子供に教えたいなどになってくると、人集めの声のかけ方が変わってくると思います。最初の段階で、ハードルを上げ過ぎない方がいいのかなと思います。</p>
只限委員長	<p>大東文化大学でも、リカレント教育の一環として、運動部の指導者や小・中学校の先生などの一般の方向けに、サーティフィケートプログラムを行っています。上尾市のように、最先端を行っている市は、いろいろなものと紐付けするとよいのではと思います。</p>
只限委員長	<p>それでは、皆様から様々な御意見をいただきましたが、本協議会としては、ここで出た御意見を反映したうえで、令和6年度事業及び地域クラブ活動実証事業について進めていただくということで御異議ございませんか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
只限委員長	<p>長時間に渡り、貴重な御意見ありがとうございました。また、進行への御協力ありがとうございました。</p>